

3 決算規模（第3表・第3図・第4図）

令和2（2020）年度の県内市町等の公営企業全体の決算規模は、1,167億1百万円で、前年度に比べ48億98百万円（4.4%）増加した。この主な要因は、上下水道事業の建設改良費の増加等に伴う資本的支出の増によるものである。

全事業のうちで決算規模が最も大きいのは、法適用下水道事業593億54百万円（全体の50.9%）であり、次いで上水道事業470億21百万円（同40.3%）、法非適用下水道事業36億78百万円（同3.2%）、病院事業31億87百万円（同2.7%）、宅地造成事業21億49百万円（同1.8%）となっている。

なお、公営企業全体の決算規模は、令和2年度市町村等普通会計歳出決算規模1兆1,574億63百万円（一部事務組合の決算額を含む）の10.1%に相当している。

第3表 地方公営企業の決算規模の推移

（単位：百万円、%）

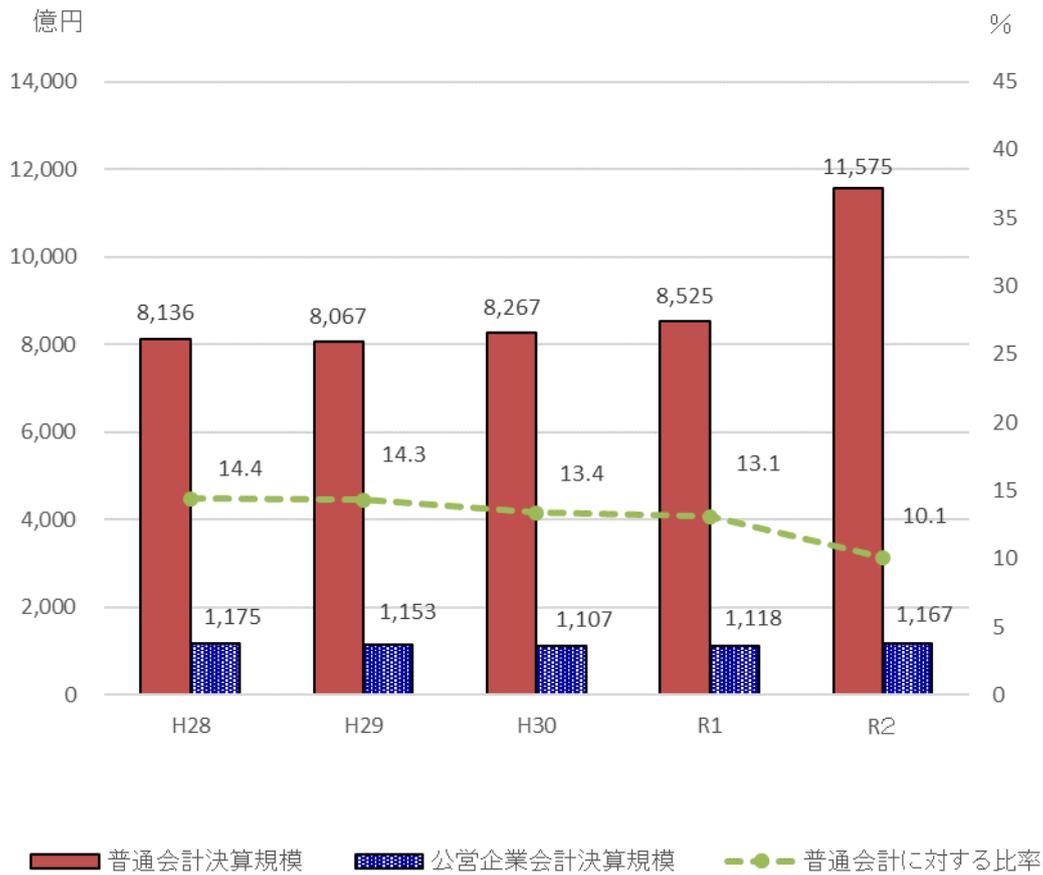
項目	決算規模					対前年度増減率				伸長指数(H28=100)				
	H28	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1	R2	
法適用	上水道	40,715	43,251	42,032	45,309	47,021	6.2	▲2.8	7.8	3.8	106	103	111	115
	工業用水道	161	195	187	169	229	20.8	▲3.9	▲9.9	35.5	121	116	105	142
	病院	3,887	3,841	3,157	3,136	3,187	▲1.2	▲17.8	▲0.7	1.6	99	81	81	82
	下水道	14,617	15,045	21,552	31,401	59,354	2.9	43.2	45.7	89.0	103	147	215	406
	市場	696	648	652	698	587	▲6.8	0.6	7.0	▲15.9	93	94	100	84
	その他	—	—	—	—	17	—	—	—	皆増	—	—	—	—
	小計	60,077	62,980	67,580	80,713	110,394	4.8	7.3	19.4	36.8	105	112	134	184
法非適用	簡易水道	586	108	77	0	—	▲81.6	▲28.4	皆減	—	18	13	0	—
	下水道	47,122	45,515	40,032	29,018	3,678	▲3.4	▲12.0	▲27.5	▲87.3	97	85	62	8
	市場	754	330	92	78	76	▲56.3	▲72.1	▲15.6	▲1.8	44	12	10	10
	と畜場	74	72	76	88	—	▲2.0	5.5	15.2	—	98	103	119	—
	観光施設	260	271	302	298	230	4.2	11.6	▲1.1	▲22.8	104	116	115	89
	宅地造成	8,404	5,759	2,300	1,412	2,149	▲31.5	▲60.1	▲38.6	52.2	69	27	17	26
	駐車場	144	142	142	138	117	▲1.0	▲0.4	▲2.7	▲15.0	99	99	96	82
	介護サービス	51	50	37	0	—	▲3.4	▲25.8	皆減	—	97	72	0	—
	電気	57	55	56	58	56	▲4.1	1.4	3.0	▲2.5	96	97	100	98
小計	57,452	52,302	43,113	31,090	6,307	▲9.0	▲17.6	▲27.9	▲79.7	91	75	54	11	
合計	117,529	115,282	110,694	111,803	116,701	▲1.9	▲4.0	1.0	4.4	98	94	95	99	

（注）決算規模の算出方法は次のとおり。

法適用企業：総費用（税込）－減価償却費＋資本的支出（建設改良費や企業債償還金等の支出）

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

第3図 普通会計と公営企業会計の決算規模の比較



第4図 決算規模の推移

